

地元のエールが力になる 応援します！ 荒尾市選手団

第65回熊本県民体育祭荒尾大会

⑩ サッカー ⑪ 柔道 ⑫ 剣道

出会い
ときめき
荒尾県体

写真とインタビュー

- 1 サッカー協会理事長 宮
辺博幸さん（桜山町一丁目）
- 2 柔道協会理事長 瀬寄大
介さん（本井手）
- 3 剣道連盟理事長 西川
克幸さん（緑ヶ丘4丁目）



1

1 サッカー 全国的に競技人口が多いのがサッカー。荒尾市も例外ではありませんが、社会人チームが少なく、思うように練習ができないことが課題だそうです。「全体的にレベルが高いため、荒尾は接戦を展開するものの、あと一步のところで勝ちを逃しているのが現状です」とサッカー協会の宮辺さんは言います。県体のサッカーは6人制で行います。攻守の切り替えが早く、スピードとスタミナが要求されるハードなゲーム展開は、11人制とは違う新鮮な見所です。オフサイドがないことや、試合時間とコートの広さもコンパクトです。「今年は昭和49年に荒尾が優勝したとき



2

のメンバーで、6人制サッカーを熟知している監督を迎えました。技術を高め、上位入賞を目指します」と頼もしい。ベスト4入りが目標だそうです。

2 柔道 20歳代前半から30歳代半ばまでの選手10人をそろえ、県体に臨む柔道。荒尾高校柔道部とともに練習するなど、限られた時間を工夫して練習しています。理事長の瀬寄さんは柔道歴30年。「相手を畳に落とす音が、耳から離れません」と、柔道の尽きない面白さを語ってくれました。また、県体は団体戦で行うため、駆け引きとチーム内の連携も見所だそうです。この種目で荒尾は、昨年5位の成績を収めています。今年もフランスのよい選手構成で、地元で昨年以上の成績を目指して練習に励んでいます。しかし、柔道人口の減少は今後の課題。県体をきっかけに経験者の発掘など、選手層を厚くしていきたいということです。



3

3 剣道 「県体とはいえ、全国トップレベルの剣士が集います」と話してくれたのは剣道連盟理事長の西川さん。熊本県は「剣道王国」として全国的にも有名です。荒尾市では大人から子どもまで、およそ70人ほどが連盟に加入しています。「剣道の勝敗は一瞬で決まります。そのとき、『心・技・体』のどれが欠けていても、『一瞬』が狙えません」と、剣道の醍醐味を語ります。この種目は女性剣士1人を加えた5人による団体戦で行います。荒尾は選手層が比較的に厚く、全員5段以上の選手で、3位以内の入賞を目指して練習しているそうです。剣道段位の最高位「八段範士」を輩出し、その指導を受けた強い剣士が多く活躍する熊本。全国レベルの選手による緊迫した試合が、荒尾で観られるもの」の競技の見所です。

題字を書きました



書 道を習い始めてまだ1年ですが、とても楽しいです。他には1年生から少林寺を習っています。学校では、ドッジボールやサッカーをして遊んでいます。将来の夢は、一級建築士になって建築会社の社長になることです。

■ おもな内容 main contents

平成22年度 荒尾市の予算	3
まちの話題	6
特定健診・後期高齢者健診を実施します	12
第7回荒尾マジャク釣り大会 開催	15
第17回あらお荒炎祭 Tシャツ発売中	16

■ 荒尾市ホームページ (<http://www.city.arao.lg.jp>)

■ 携帯電話専用ホームページ 二次元コード
<http://www.city.arao.lg.jp/defaultM.aspx/>
※通信費は閲覧者の負担です。

■ 声の広報 [文字による情報入手が困難な障がい者のための音声訳（録音版）広報誌]（福祉課へおたずねください）

